学校番号	T3016

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)基礎国語	単位数	２単位	年次	３・４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎的な国語力を養い、社会生活を充実させる態度を育てる。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・漢字・四字熟語・ことわざ・慣用表現等の意味、用法について理解する。
・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】
・新聞記事などさまざまな文章に触れ、表現技術を学び伝え合うこと、また、論理的に考えることで考えを深めることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
・新聞やテレビ、ラジオのニュースなどを積極的に活用し、世の中の情勢に興味を持つ態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国語の漢字や四字熟語、ことわざや慣用表現など意味や用法に対する関心を深め、その向上を図り、進んで表現するとともに、聞き取ったり話し合ったりする。	様々な文章に触れ、表現技術を学び伝え合い、自分の考えをまとめたり深めたりして、相手の目的に応じ、敵切に文章力を身につける。	メディア等を活用し、自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて文章を的確に読み取ったり、読書に親しんだりし、様々な情勢に興味を持てる人間性を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字・四字熟語 ［教材］	a：漢字・四字熟語の基礎的な復習、および意味や用法について関心を深め、理解する。 b[　書　]：応用に向けての使い方を考察する。 c：実際に文や文章中にどれだけ使っているか調査する。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント	提出課題 振り返りシート
	ことわざ・慣用表現 ［教材］	a：ことわざ・慣用表現の意味や用法について関心を深め、理解する。 b[　書　]：応用に向けての使い方を考察する。 c：実際に文や文章中にどれだけ使っているか調査する。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント	提出課題 振り返りシート
	文章を読み取る ［教材］	a：文章中に出てくる言葉の意味を理解する。 b[　読／聞　]：理解度を見るための考察。 c：複数の文章を読み比べ、異なる文書の書き手の意図を解釈し、調査する。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント	提出課題 振り返りシート
後期	様々な文章に触れる ［教材］	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特徴を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いを理解する。 b[　読　]：文書の種類を踏まえて、内容や構成のどについて的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：複数の文章を読み比べることを理解し、異なる種類の文章の書き手の意図を解釈し、自分の考えを深め、発表しようとしている。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント	提出課題 振り返りシート
	文章を書く ［教材］ ［教材］	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特徴を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いを理解する。 b[　書　]：目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整え、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりしている。 c：積極的に必要な情報を取捨選択し、よりよい文章を書こうとしている。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント	提出課題 振り返りシート
	［教材］	a： b[　　]： c：			

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間